

タイムスタンプサービスの仕様変更に伴い、署名を確認するためには、タイムスタンプを検証するソフトウェアごとに証明書をインストールする必要がございますので、署名を確認する際には、お手続きをお願いできればと存じます。

お手続き方法は、以下をご参考にいただければ幸いです。

【お問合せ先】 Holmesカスタマーサポート

050-1746-9492 [cs@holmescloud.com](mailto:cs@holmescloud.com) Holmes画面内チャット

Acrobat DCの場合の対応方法



想定ソフト  
Adobe Acrobat DC

## 1. SECOM TimeStamping CAのインストール

下記のサイトにアクセスし、ファイルをダウンロードします。

### ① 下記のサイトにアクセス

<https://repo1.secomtrust.net/spcpp/ts/>

### ② 「CA Certificate」をダウンロードします。

CA Certificateをクリックすると「ca3.cer」が落ちてきます。



## 2. Acrobat DCを立ち上げる

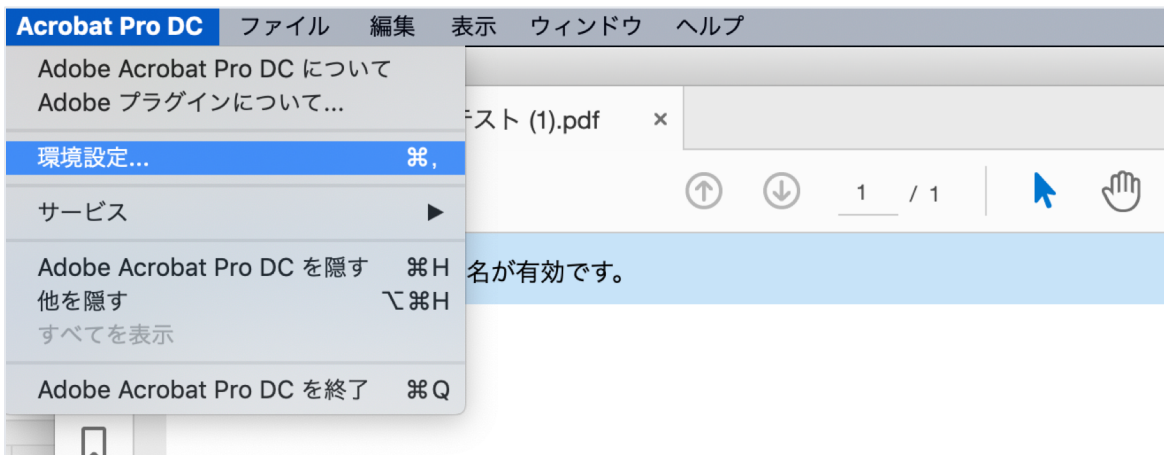
1/15以降に締結した任意の契約書ファイルを「Acrobat DC」で開きます。



「少なくとも1つの署名に問題があります。」と表示されます。

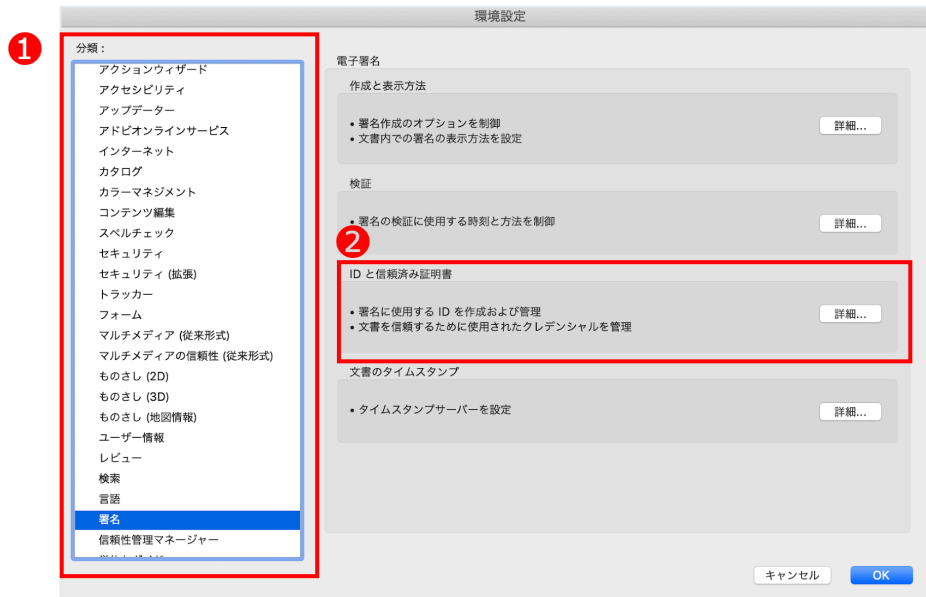
## 3. 環境設定を開く

メニューバーの「Acrobat Pro DC」より「環境設定」を開きます。



## 4. 署名メニューから「IDと信頼済み証明書」の「詳細...」へ

- ① 環境設定を開いたら左側の「分類」から「署名」をクリックします。
- ② 右側の上から3段目の「IDと信頼済み証明書」欄の「詳細」をクリックします。



## 5. 信頼済み証明書メニューを選択して「取り込み」をクリックする

- ① 左欄の「信頼済みの証明書」メニューをクリックします。
- ② メニューバーの「取り込み」をクリックします。



## 6. 「参照...」 ボタンを押して、先ほどダウンロードした「ca3.cer」を選択

- ① 右側の「参照」ボタンをクリックします。
- ② 先ほどダウンロードした「ca3.cer」を選択します。
- ③ 上部の連絡先の「SECOM TimeStamping CA3」を選択し、下部の証明書の「SECOM TimeStamping CA3」をクリックします。
- ④ 「信頼...」をクリックします。

取り込む連絡先の選択

このダイアログボックスを使用して、信頼済み証明書に取り込む連絡先を選択できます。取り込む連絡先に関連付けられた証明書の信頼を設定することもできます。

連絡先

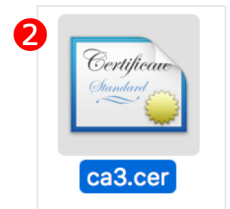
名前	電子メール	操作
SECOM TimeStamping CA3		① 削除 ③ 参照... 検索...

証明書

この一覧には、現在選択している連絡先に関連付けられた証明書が表示されます。

サブジェクト	発行者	期限	操作
SECOM TimeStamping CA3	Security Communication RootCA3	2037/12/31 14:12:31	④ 詳細... ④ 信頼...

ヘルプ      キャンセル      取り込み



## 7. 「この証明書を信頼済みのルートとして使用」に チェックし「OK」、一つ戻って「取り込み」を実行する

- ① 「この証明書を信頼済みのルートとして使用」をチェックします
- ② 「OK」を押します。

証明書の詳細

サブジェクト: SECOM TimeStamping CA3  
 発行者: Security Communication RootCA3  
 使用方法: 証明書に署名 (CA)、CRL に署名

有効期限: 2037/12/31 14:12:31

**信頼**

署名の検証が成功するには、文書の署名に使用される証明書が信頼点として指定されているか、信頼点までのチェーンである必要があります。信頼点およびそれよりも上の階層については失効確認は実行されません。

①  この証明書を信頼済みのルートとして使用

署名の検証に成功した場合、次の対象についてこの証明書を信頼します:

- 署名された文書またはデータ
- 証明済み文書 ※こちらのチェックはついていてもいなくてもどちらでも問題ありません。
  - ダイナミックコンテンツ
  - 埋め込まれている特権の高い JavaScript
  - 特権が必要なシステム操作 (ネットワーク、印刷、ファイルアクセスな)

② **OK**

- ③ 一つ前に戻り、「取り込み」をクリックします。

証明書

この一覧には、現在選択している連絡先に関連付けられた証明書が表示されます。

サブジェクト	発行者	期限	詳細...
SECOM TimeStamping CA3	Security Communication RootCA3	2037/12/31 14:12:31	信頼...

③ **取り込み**

## 8. 設定を完了して、PDFファイルを開いて署名を検証すると全ての署名が有効になる



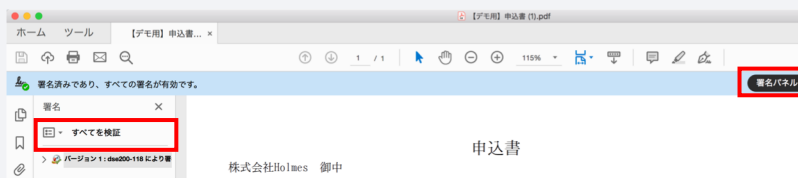
一度ファイルの取り込みが完了すれば、全てに適用されるため、この作業を繰り返す必要はありません。

上記の方法以外に

- ① 「少なくとも1つの署名に問題があります」というエリアの「署名パネル」を開く。
- ② 「署名の詳細」を展開。
- ③ 「証明書の詳細」を押す。
- ④ 「信頼」タブにある「信頼済みの証明書に追加」を押す。
- ⑤ 「すべてを検証」を実行する。
- ⑥ 「署名の詳細」を展開し、「証明書の詳細」を押す。  
という方法もございます。

「署名を検証する必要があります」という表示が出た場合は、

- ① 「署名パネル」を展開。
- ② 「すべてを検証」をクリックすると改善します。



信頼済み証明書の追加に関して、会社によってはユーザーの操作が制限されている場合があります、その場合は、情報システム部の管理者など権限がある方に作業して頂く必要があります。

## 仕様変更の経緯

タイムスタンプサービスにおける認証局（CA）であるセコムトラストシステムズ株式会社が、CA/Browser Forum（主要な認証局およびブラウザベンダー構成される証明書発行や認証局の運用に係る基準を策定する国際的な業界団体）の方針に従い、タイムスタンプの検証に使用するTSA証明書（タイムスタンプ局用証明書）をこれまで通りルートCAから直接発行するのではなく、中間CAから発行する運用に変更したのに伴い、本変更が行われることとなりました。

Holmesの自体の仕様変更はございません。